

公告 昭 37.9.3 出願 昭 36.5.20 特願 昭 36-17984

出願人 発 明 者 由 井 喜 八 郎 東京都葛飾区亀有町3の563
代理人 弁 理 士 堤 良 輔

(全2頁)

ナ ッ ト 定 着 補 助 バ ッ キ ン グ

図面の簡単な説明

第1図は本発明のナット定着補助バツキングの縦断面図、第2図は同上平面図、第3図は側面図、第4図は締付要領を示す縦断面図である。

発明の詳細な説明

本発明は底部中央に螺杆挿入孔を設けた、キャップ状枠体内に中央の螺杆挿入孔の周辺を磁気層とした弾性体を嵌挿し、該弾性体の上面に締付保護金属平板を重合した後前記枠体の上端周縁を適宜内側に打ち曲げて前記保護金属平板の脱出止を設けてなるナット定着補助バツキングにして、ナットの締付けにより枠体内に嵌挿した弾性体の螺杆への喰込みを緊密にして磁気作用と相俟ちその密着を完全にすると共に弾性体の寿命を延長し、ナットの定着を安全確実ならしむるにある。以下図面につき詳細に説明する。

本発明は適当厚の、金属板を圧型して作ったキャップ状枠体1の底部2の中央に螺杆挿入孔3を穿設し、該枠体内に中央に螺杆挿入孔4を設けた弾性体5を嵌挿する。この弾性体5は枠体の内径より僅かに小径に作るを便とし、中央の螺杆挿入孔4の周辺は弾性磁気層6としておく。前記弾性体にはゴムを、磁気層にはゴム磁気を使用するが便である。而して前記弾性体5の上面には枠体1の内径より稍小径にして中央に螺杆挿入孔のある締付保護金属平板7を重合し、締付ナットの締付けを容易にした。前記締付保護金属平板を枠体1内に挿入した後枠体1の上端周縁8の全部又は1部を僅かに内側に打ち曲げて前記締付保護金属平板7の脱出止9を作る。図例は周縁8の1部に作った場合の

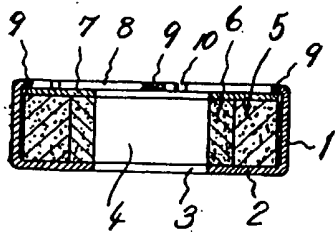
脱出止である。尚枠体1の周壁には数個の切込溝10を設け、ナットの締付定着後周壁をナットの側面に屈折してナットの回り止めを作るに便すべくした。11は螺杆、12はナットである。

本発明は以上のような構成からなっている故、枠体1内に嵌挿した弾性体5及び締付保護金属平板は、枠体の上部周縁の脱出止9により押えられているから、1度組立てた後は、枠体内で弾性体や締付保護金属平板が動いても脱出することがない。締付けするときは先ず本バツキングを螺杆11に嵌合し、締付保護金属平板7の上からナット12で第4図のように締付ける。然るときは弾性体5は圧縮されるが周囲は枠体1の周壁で囲まれているから、中央の螺杆挿入孔に向つて圧出する。従つてこの圧出部が螺杆11のネジ山の周囲に押し付けられ、ここに喰込むことになる。而してこの喰込みは極めて緊密となり、その上螺杆挿入孔周辺の弾性磁気層4の磁気作用が加わつて吸着されるようになるので、螺杆とバツキングとは殆んど完全に密着しナットの定着を安全確実にし、ナットの利用上の効果を増大し得ることが多大である。

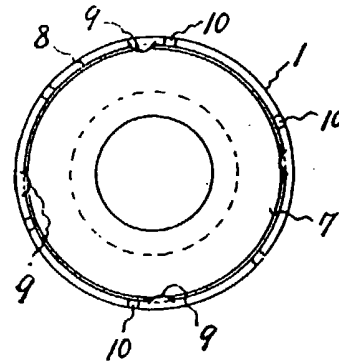
特 許 請 求 の 範 囲

1 本文に詳記し且図面に明示するように、底部中央に螺杆挿入孔を設けたキャップ状枠体内に、中央の螺杆挿入孔の周辺を磁気層とした弾性体を嵌挿し、該弾性体の上面に締付保護金属平板を重合し、更に前記枠体の上端周縁に枠体内嵌挿物の脱出止を打ち出し構成することを特徴とするナット定着補助バツキング。

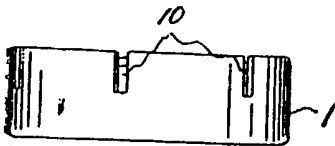
第1図



第2図



第3図



第4図

